

特別講演 SPECIAL SESSION

SI-

6月11日(水) 16:15-

次世代広告プラットフォーム：「デジタルサイネージの将来展望」

■ 講演者 Speaker



<モデレータ>
中村 伊知哉
デジタルサイネージコンソーシアム 会長
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授

<パネラー>
宇治 則孝
日本電信電話株式会社 代表取締役副社長



杉本 晶
株式会社電通 執行役員
メディア・コンテンツ本部 副本部長



■ 概要 Overview

デジタルサイネージはデジタルやネットワーク技術などを用い、屋外や店頭、交通機関など、一般家庭以外の場所タイムリーに映像や情報をディスプレイ表示する次世代型インフォメーションシステムであり、「時間と場所を特定できる唯一のメディア」として新たな活用が始まっています。放送、通信、映像の連携が叫ばれる中、デジタルサイネージはそれらの連携の結果によるメディアやビジネスの新形態として期待が高まっています。今回の講演では、ブロードバンドIPネットワークやNGNの屋外における応用分野の一つとして、そして今後のメディアとしての可能性などについて議論していきます。

■ 講演者略歴 Biography

中村 伊知哉(なかむらいちや)
デジタルサイネージコンソーシアム 会長
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授

1961年生まれ。京都大学経済学部卒。大阪大学博士課程単位取得退学。

博士(政策・メディア)。
1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。電気通信局、放送行政局、通信政策局、パリ駐在、官房総務課を経て1998年退官。

1998年-2002年MITメディアラボ客員教授。
2002年-2006年、スタンフォード日本センター研究所長。

2006年10月、慶應義塾大学DMC機構教授。

2008年4月より現職。

総務省参与、情報通信審議会専門委員、文化審議会著作権分科会専

門委員。
NPO「CANVAS」副理事長、(株)CSK顧問を兼務。
著書に『通信と放送の融合のこれから』(翔泳社)、『デジタルのおもちゃ箱』(NTT出版)、
『インターネット、自由を我等に』(アスキー出版局)など。

宇治 則孝(うじ のりたか)
日本電信電話株式会社 代表取締役副社長

大阪府出身。京都大学工学部修士課程(電気系)卒。
1973年日本電信電話公社に入社。
総裁室企画室にてNTT民営化関連業務、新規事業開発業務を担当したあと、
88年NTTデータに異動。
産業システム事業本部(現在の法人分野)で民間企業向け情報システムの企画開発、
コンサルティングや営業提案を統括。
その後、新世代情報サービス事業本部長、経営企画部長、法人分野の事業本部長等を経て、
2005年より代表取締役常務として法人分野、新規ビジネス分野、セキュリティ戦略、
情報システム戦略等を掌管。
07年6月より日本電信電話株式会社代表取締役副社長(技術戦略担当)となり現在に至る。
著書に「進化する企業のしくみ」(PHP研究所)がある。

杉本 晶(すぎもと・あきら)
株式会社電通 執行役員
メディア・コンテンツ本部 副本部長

昭和48年	3月	広島大学文学部卒業
同 48年	4月	電通入社
同 48年	5月	東京本社新聞雑誌局送稿課 勤務
同 49年	8月	東京本社新聞雑誌局中央二部 勤務
同 54年	1月	東京本社新聞雑誌局書籍部 勤務
同 61年	4月	職制改正により、東京本社新聞局書籍部勤務
同 63年	5月	東京本社新聞局中央部 勤務
平成5年	11月	東京本社新聞局業務推進2部長
同 8年	7月	職制改正により、東京本社新聞局業務推進部長
同 9年	6月	東京本社新聞局次長
同 13年	6月	東京本社新聞局長
同 16年	6月	第15営業局長
同 19年	6月	メディア・コンテンツ本部 副本部長

[×閉じる](#)

Copyright (c) 2008 CMP Technology Japan Co., Ltd All rights reserved.